



LPGRON170
Klaus Dinger & PreJapandorf
2000!
22.04.2017

新世紀の訪れは、大きな期待が寄せられていた。
世界が明るくより良い未来にむけてグローバルに思考する場へと変わってゆくだろうと。
この Klaus Dinger + pre Japandorf のアルバムは、あの希望にみちた時代の変わり目に連れ戻してくれる。

伝説のプロジェクト、ノイ！ NEU!、ラ・デュッセルドルフ La Düsseldorf の創始者、クラウス・ディンガーは、既に70年代から新世紀の訪れに大きなインスピレーションを抱いて来た。クラウスは2000年を機会に様々なミュージシャン、アーティストと自発的なセッションをくりかえし、新世紀にふさわしい新しい音楽の形をさぐっていた。1999年に友人の美術家、中尾正樹(ナカオ)を通して、尾之内和之(カズ)と出会ったクラウスは、自らラ・デュッセルドルフのアルバム“VIVA”(1978)をリミックスするプロジェクトを始動する。この“VIVA Rimix”が今回リリースされるアルバム „2000!” が生まれる発端となる。

キーボードのアンдреアス・ライゼ (Kreidler) とボーカルのヴィクトリア・ヴェアマイスター (Toesch) はこのセッションの重要な鍵を握っている。以前の La!NEU? (1995-1998) というプロジェクトでクラウスと何枚ものアルバムを制作した経験をもつ彼らに加え、ボーカルに美術家のナカオとテア・ジョルジャッセが参加。クラウスがギターでリードし、カズがドラム、そして録音エンジニアを担当。これで実験的セッションをする為のパーフェクトなメンバーが揃った。この時点で“Japandorf” ヤパンドルフという名前はクラウスの中にすでに存在していた。

クラウスの作品の系譜のなかで、この“2000!”はその後に生み出される、そしてクラウス最後のプロジェクトとなるアルバム“Japandorf”のブループリントとして重要な役割をなしている。アルバム“Japandorf”は既に2013年にグリーンランド レコード からリリースされている。

1999年の暮れ、新年の挨拶にかえて、クラウスは友人達に‘スマッシング CHA CHA 2000!’ というメッセージをファックスで送っている。このアルバムのタイトルはこのメッセージからきている。CHA CHA 2000!は前述のアルバム VIVA に収録された曲のタイトルであり、クラウスの永遠のマニフェストである。

アルバム „2000!”は、全て一発取り、一曲目の‘June 2. 2000! Lilienthal Studio’を除いて、全てクラウスのオランダにあるゼーランドスタジオで録音されている。

このアルバム „2000!”が録音されたゼーランドのスタジオには、独特の魅惑的な雰囲気があった。メンバーは自然のままの美しい庭にそれぞれテントをはって泊まり、キャンプファイヤーの周りに集い、静かに『その時』が訪れるのを待っていた。そして『その時』を感じたときにスタジオに入り、クラウスがギターを弾き始めると、それを受けて他のメンバーがそれぞれの持ち場で音楽を始める、まったくリハーサル無しでの演奏だった。

初めての瞬間のみに現れるピュアでマジックな音楽を録ろうと、クラウスはこの緊張感あふれる即興セッションに、皆がリラックスして自由にとびこめる様に気を配っていた。

『ドキュメンタリーをアートへと昇華する』これこそ、このアルバムの真髄である。

曲について

アルバム冒頭1曲目、マキが回想する、『夢の中、もしくはファンタジーの中にいるような気がする。。』

2曲目と3曲目、ヴィクトリアは Pure Energy の歌詞『Pure energy, without memory...』や『Talk to me, yes I wanna know』は録音最中に自発的なリアクションとして生まれた言葉だと語る。

Mayday は、オリジナルは La!NEU? の“Düsseldorf”というアルバムに収録されていて、クラウスが歌っている。このアルバムではヴィクトリアとテアがうたっている。

クラウスは毎年夏至を祝う習慣があり、Midsummer もその頃録音された。ヴィクトリアはフランス語で『踊れ踊れ』と、テアは母国語のグルジア語で『遊ぼう、遊んで』とうたっている。

"Untitled, September 12. 2000!" と "THANK YOU ALL!"、この2曲はクラウスが長い間あたためていた曲。クラウスとカズは2000年以降、なんども演奏しては録音していた。それはクラウスの無くなる直前、2008年まで続いていた。ギターとドラムを一発で録り、その後ベースを重ねて録っている。

"THANK YOU ALL!" “:クラウスが叫び、歌う。“Thank you for loving us, thank you for hating us. You can beat us, cheat us, and treat us so bad, but we don't care, we are the sensation of the model Nation!”.

『愛してくれて、憎んでくれて、ありがとう！どんなに騙され、なぐられ、ひどい扱いを受けても構いやしない、ぼくらはモデルネーションのセンサーだ！ありがとう、すべてに！』
新世紀へむけたクラウドのメッセージだ。

アーティスト: Klaus Dinger + pre Japandorf

アルバム名: 2000!

リリース: 4/22/2017

A

1. June 2. 2000! Lilienthal Studio (2:22)

music Onouchi, Nakao

Maki Umehara(vox) Klaus Dinger (vox) Kazuyuki Onouchi (piano) Masaki Nakao (Harmonica)

2. Pure Energy (5:14)

words Wehrmeister music Dinger, Wehrmeister, Reihse, Onouchi

Klaus Dinger (guitar) Viktoria Wehrmeister (vox) Andreas Reihse (keybord) Kazuyuki Onouchi (drums) Masaki Nakao (vox)

3. Talk (5:15)

words Wehrmeister music Dinger, Wehrmeister, Reihse, Onouchi

Klaus Dinger (guitar) Viktoria Wehrmeister (vox) Andreas Reihse (keybord) Kazuyuki Onouchi (drums) Masaki Nakao (vox)

4. Mayday 2000! (7:35)

music and words Dinger

Klaus Dinger (guitar) Viktoria Wehrmeister (vox) Thea Djordjadze (vox) Masaki Nakao (vox)

B

5. Untitled, September 12. 2000! (8:12)

music Dinger, Onouchi

Klaus Dinger (guitar) Kazuyuki Onouchi (drums/bass)

6. Midsummer (7:00)

words Wehrmeister, Djordjadze music Dinger, Onouchi, Reihse, Wehrmeister

Klaus Dinger (guitar) Kazuyuki Onouchi (drums) Andreas Reihse (keybord),
Viktoria Wehrmeister (vox) Thea Djordjadze (vox)

7. THANK YOU ALL! (2:40)

words Dinger, music Dinger, Onouchi

Klaus Dinger (vox/guitar/bass) Kazuyuki Onouchi (drums)

Recorded at Klaus Dinger´s Zeeland Studio Kamperland
and at Lilienthal Studio Düsseldorf by Kazuyuki Onouchi 2000

Mixed by Klaus Dinger and Kazuyuki Onouchi 2000 - 2007

Mastering by Kai Blankenberg Skyline Tonfabrik 2016

Produced by Klaus Dinger, Co-produced by Kazuyuki Onouchi and Miki Yui

Front cover drawing by Viktoria Wehrmeister 2000

All Polaroid by Klaus Dinger 2000, except self portrait and Andreas Reihse by Thea Djordjadze,

Klaus Dinger with camera by Shinichi Mizoguchi 2000

Cover design by Christa Marek and Miki Yui 2016

Grönland Records 2017